

熊毛の社会教育

令和四年二月発行
熊毛地区社会教育振興会

<熊毛地区社会教育主要事業実績>

| 月 | 日 | 曜 | 事業名 | 会場 | 出席者数 |
|----|----|---|--|------------|------|
| 6 | 26 | 土 | 地区社会教育指導者研修会 (青年団体) (オンライン開催) | 各市町教育委員会 | 19人 |
| 7 | 1 | 木 | 地区文化財保護審議会委員等研修会 (オンライン開催) | 各市町教育委員会 | 37人 |
| 8 | 23 | 月 | 地区子ども会大会・創作活動大会 (個別活動) | 各家庭 | 40人 |
| 11 | 29 | 月 | 地区社会教育指導者研修会 (PTA・女性団体・高齢者団体)、人権教育ブロック別指導者研修会、社会教育委員等研修会及び自治公民館経営研究会 | 南種子町立中央公民館 | 50人 |
| 12 | 4 | 土 | 県PTA活動研究委嘱公開 (誌面開催) | 中種子町立油久小学校 | |
| 12 | 12 | 日 | 地区子ども会指導者・育成者研修会 地区子ども会安全教育研修会 | 南種子町立中央公民館 | 40人 |
| 1 | 29 | 土 | 中央ブロック子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会 | 各市町教育委員会 | 34人 |

熊毛地区社会教育振興会では、地域・家庭・学校・行政・関係機関等の連携が更に深まり、熊毛地区の社会教育がますます充実・発展することを願ってリーフレット「熊毛の社会教育」を作成しています。ぜひ御一読いただき、本地区の社会教育の更なる充実・発展に御理解と御協力をお願いします。

一・二ページには、地区主要行事が、三・六ページには、一市三町の特色ある事業等が掲載してあります。

社会教育指導者研修会 (青年団体)

令和三年六月二十六日(土)
オンライン開催 (十九人)

種子島大学事務局長の小早太氏に「広域連携の町おこし」をテーマに講話をしていただきました。コロナ禍におけるオンラインの活用術を学んだり、人と人が対面でつながることの必要性を再確認したりする機会となりました。また、各市町の青年団の活動報告や「青年団活動を魅力あるものにするために」をテーマに討議を行いました。

各団が工夫を凝らしながら、まちおこしに力を発揮している様子がよく伝わりました。青年団の弱体化が懸念される昨今ですが、本研修会をきっかけに、今後ますます各団が交流を深め、地区全体で活発な青年団活動がなされていくことを期待します。



【オンラインでの交流】

文化財保護審議会委員等研修会

令和三年七月一日(木)
オンライン開催 (三十七人)

県教育庁文化財課の横手浩二郎主任文化財主事と住吉啓三文化財主事に「文化財保護行政の概要」について講話をしていただき、研修を深めました。研究協議では、南種子町文化財保護審議会副会長の宮里照夫氏による「郷土の文化財の保全と活用の在り方」についての事例発表

をもとに、各市町が抱える課題の解決策等について意見交換がなされました。最後に、主催地の西之表市から、「喜志鹿崎沖に沈む旧日本軍機(九七式艦上攻撃機)」について紹介が行われました。今後も県と地区で情報共有を行い、文化財の指定、保存・活用を推進してまいります。



【講話の様子】



【事例発表の様子】

県PTA活動研究委嘱公開

令和三年十二月四日(土)
中種子町立油久小学校

油久小学校PTAでは、「地域とつながり、油久の伝統をつなぎ、思いをつなぐPTA活動」読書と地域活動を核にして「を研究主題に実践を積み重ねてきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から誌面開催となりましたが、PTA会員が学ぶ貴重な機会を提供していただきました。今年度開校一五〇周年を迎える油久小学校には、これまで長きにわたり保護者や地域ボランティアによる読み聞かせ等、多くのPTA活動が受け継がれてきました。今後も郷土のよさを生かしたPTA活動が展開されていくことを期待しています。



開校150周年記念式典

【油久の歴史を紹介】

社会教育指導者研修会（PTA・女性団体・高齢者団体）
人権教育ブロック別指導者研修会
社会教育委員等研修会及び自治公民館経営研究会

令和三年十一月二十九日（月）
南種子町立中央公民館（五十人）

地区内の社会教育関係団体等の関係者、社会教育委員及び公民館長等が南種子町に集まり、社会教育・人づくりやまちづくりの充実を目的として研修を行いました。

県男女共同参画局人権同和対策課の鎌田豊作先生に「地域のリーダーとして考える人権同和教育」と題し、講演をしていただきました。「子どもの人権」「同和問題（部落差別）」「障害者の人権」について深く学ぶことができました。



【人権同和教育の講演の様子】

協議では、屋久島町永田公民館館長の田中一巳氏が事例発表を行い、地域と学校が協働し、永田幼児学級や敬老祝賀会等の多くの行事を運営されていることを紹介してくださいました。

《出席者の感想より》

- ・ 人権について改めて学ぶよい機会になった。
- ・ 発達障害についてもっと理解が深められるよう、何度でも研修を重ねたい。
- ・ 一人一人みんなの違いを認め合うことを大事にしたい。
- ・ 興味深い事例発表だった。同じような課題を抱えているので、また情報交換を行いたい。
- ・ 学んだことを地域学校協働活動に生かしたい。

子ども会指導者・育成者研修会
子ども会安全教育研修会

令和三年十二月十二日（日）

種子島会場・南種子町立中央公民館（四十人）
（屋久島会場・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
南種子分遣所職員を講師に、安全教室「いざという時の応急救護」を行い、AEDの使い方や心臓マッサージの仕方について実技演習しました。その後、子ども会会員と指導者・育成者に分かれ、それぞれKYT（危険予知トレーニング）とレクリエーション、子ども会活動における指導者・育成者の役割と安全教育について研修しました。



【いざという時の応急救護】



【レクリエーション】

《子ども会会員の感想より》

- ・ 初めて心臓マッサージの仕方やAEDの使い方を知りました。心臓マッサージは、思ったより心肺蘇生訓練用人形がたたくて力が必要で、大変な作業でした。
 - ・ KYTでは、危険なところは身の回りにたくさんあることを学びました。いざというときにあわてないで行動できると思います。
 - ・ 他の市や町の人たちと交流でき、とても楽しかったです。
- 《指導者・育成者の感想より》
- ・ 対面で開催でき、子供も大人も市町間の交流ができました。
 - ・ 会員が安全に楽しめる活動、地域の人に喜んでもらえるような活動を続けていきたいです。

子ども会大会・創作活動大会

令和三年八月二十三日開催予定の子ども会大会・創作活動大会は、感染症対策のため、各家庭で個別活動を行いました。活動後は、二次元コードのアンケートに回答したり、活動写真をアップしたりして、お互いの学びを共有しました。



【アップされた写真】
ヤコウガイアークセサリづくりは、ヤスリで貝を削るのが大変で疲れました。でも、きれいで素敵だったので嬉しかったです。

受賞おめでとうございます

令和三年度各種表彰

- ◆ 県子ども会育成連絡協議会表彰
 - 峯子ども会育成会 (西之表市)
 - 油久校区子ども会育成会 (中種子町)
- ◆ 熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰
 - 中目子ども会 (西之表市)
 - 南界校区子ども会育成会 (中種子町)
 - 矢野 憲一 (屋久島町)
- ◆ 優良少年少女団体及び地域高校生クラブ等表彰
 - 種子島レオクラブ (西之表市)
 - 楠川楠川子ども会 (屋久島町)
- ◆ 熊毛地区社会教育関係優良団体及び個人表彰
 - 岩岡小学校PTA (中種子町)
 - 親子読書学級「くろしお」 (西之表市)
 - 上妻 和子 (屋久島町)
 - 江口 勝實 (屋久島町)

【編集・発行】

熊毛地区社会教育振興会事務局
住所 西之表市西之表七五九〇番地
熊毛教育事務所内
電話 (〇九九七) 二二一〇五三五
FAX (〇九九七) 二二一〇五二一

西之表市

まなびの輪
にしのおもて

「波濤を超え、全国どこでもたくましく生き抜くことのできる力を備えた人間育成」、「郷土振興に情熱を燃やし、郷土興しの原動力たり得る人間育成」をスローガンとし、「ひとりだちの教育」を本市教育の基本理念としています。

ふるさとまなび隊

「ふるさとまなび隊」は市内の小学三年生から小学六年生を対象とし、様々な体験学習を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養うことを目的としています。

令和三年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、屋外での活動を基本とし、定員数や活動時間を縮小した形での活動となりました。

① 海の生き物を見つけよう!

今年度最初の活動は、安納球場周辺の海岸で、海の生き物を探しました。参加者二十人での活動となりました。心配された天候も安定し、安全面においても指導員を増やすなど、安全に活動を実施することができました。

八十分という活動時間ではありましたが、見つけたナマコを観察したり、カメノテの取り方を友達に教えたり、岩の隙間を一生懸命覗き込んで生き物を探している姿を見ることができまし

た。子供同士の交流もでき、海の生き物にも興味や関心をもって活動できていたように思います。



海の生き物搜索中

② 昔遊び体験

第二回の活動では、種子島の方言を利用したゲームや昔遊び体験を実施しました。

参加者二十一人での活動となり、活動の前半は、種子島に語り継がれる紙芝居を聞いたり、種子島の方言を使って文章を作るゲームをしたりしました。普段使わない言葉に少し戸惑いな



方言ゲーム

がらも、何とか完成させ、グループや全体の前で発表することができました。昔遊びでは、「一つ葉手裏剣」

と「竹鉄砲」作りに挑戦しました。手裏剣作りでは、何度か組み方を間違えながらも、たくさんの手裏剣が完成しました。竹鉄砲作りでは、のこぎりの使い方に四苦八苦したり、中の突き出し棒と筒の長さの微調整を何度も行ったりしながら作りました。いざ遊んでみると、弾が思うように飛び出さず、筒に新聞紙の束が詰まってしまいうことがあり、その都度手直ししながら遊んでいました。何人か「ポーン」と良い音がして弾が飛んでいて、うらやましそうにしている子供たちの姿もありました。

③ しおさい留学生との交流会

七月の活動では、しおさい留学生との交流会として、種子島のバスツアーを行いました。主にバスの中で、種子島の歴史の話を聞くことがメインになりましたが、興味をもって聞いていました。途中で、ヨガを体験したり、広田遺跡ミュージアムで夜光貝アクセサリーを作ったり、昼食の後、宇宙科学技術館で自由見学を行ったりして、子供たちの交流の時間を作りました。少ない時間の中で、友達と遊んだり、指導員に写真を撮ってもらったりして楽しんでいました。

午後からは、南種子町社会教育課職員に御協力いただき、赤米館や門倉岬を



みんなでヨガポーズ

生涯学習の取組

社会教育課では、新型コロナウイルス感染症対策のため、社会教育施設を休館している期間に、様々な取組をしました。

青少年ホームでは、剥がれかけていた壁紙をすべて剥ぎ、職員自らの手で、ペンキを壁一面に塗りなおしました。また、現在、一階談話室では、熊毛美術協会の皆様の作品を展示しています。今後、各自主文化団体へ呼びかけていく予定です。

更に、社会教育課では、YouTubeチャンネルを開設しました。現在は、図書館職員による読み聞かせの動画と各月の社会教育関係の行事紹介をアップしています。今後、各行事の活動風景をまとめたものや、鉄砲館の企画展の内容などを取り上げていく予定です。今後も、社会教育課の取組について、どんどん情報発信をしていきます。



YouTube (行事紹介)



中種子町



風立のまち
なかたね

チャレンジ・キッズ
「歴史を学ぼう！」



チャレンジ・キッズ「歴史を学ぼう！」

中種子チャレンジ・キッズは年間を通して体験活動を行っています。第四回目「歴史を学ぼう！」には、会員の子ども二十一人が参加し、種子島の特産品であるカライモ（さつまいも）、主に安納芋の歴史をテーマに取り上げて学びました。最初に、町内にある農協の安納芋選果場へ見学に行きました。農協職員の古市力氏から安納芋の特徴や歴史、そして種子島で栽培された安納芋がどのように全国へ運ばれていくのかを教わり、出荷作業の見学をしました。その後、安納芋やカライモのルーツを紙芝居や資料で詳しく勉強しました。お土産に安納芋をもらった子供たちは、満足げな表情でした。

家庭教育学級合同研修会
「二十四時間笑って過ごそう」



家庭教育学級合同研修会

十二月一日に中種子町立中央公民館大ホールにおいて町家庭教育学級合同研修会を開催し、六十一人が出席しました。西之表市前人権擁護委員の榎本和枝氏を講師に迎え、「二十四時間笑って過ごそう」の演題で人権同和問題について講演が行われました。榎本先生自身の子育て経験や人権擁護委員を通して印象に残っている話などを交えて、「子どもの人権」について語られ、笑いあり涙ありの研修会となりました。

なかたね読み聞かせ会

十一月十六日・十八日・十九日の三

中種子町の指定文化財

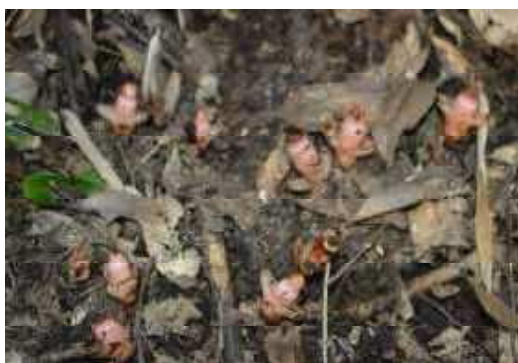


なかたね読み聞かせ会

日間、町内小学校と中央保育所、野間幼稚園において、「なかたねおはなしパレット」による、なかたね読み聞かせ会を開催しました。大型絵本やパネルシアター、てあそびなどを行いました。今年初めてペープサートという紙人形劇を種子島弁で実演しました。なかなか聞く機会が減っている種子島弁を聞きながらの読み聞かせは、子供はもちろんのこと、先生も興味津々でした。種子島に関する紙芝居など種子島について学ぶこともできました。一時間弱の読み聞かせ会でしたが、途中で笑いも起こるなど、楽しい時間となりました。

中種子町が指定している文化財には、建造物や物品だけでなく植物や踊りも含まれています。熊野権現山にある「ヤッコソウ自生地」も植物の指定文化財です。ヤッコソウは、ブナ科のツブラジイ

または、ジブラジイを宿主とする葉緑素を持たない寄生植物で宿主の根に寄生します。花茎は全体が乳白色をしており、乾くと黒褐色に変色します。八月頃から群生して伸長しはじめ、十月から十一月にかけて、花茎の頂点に淡黄白色の長さ十五mmほどの花を一つ付けます。花には蜜が豊富なため、蜂や小鳥の吸蜜源となります。日本では四国南部以南の温帯から亜熱帯にかけての限られた地域に分布しており、日置市のヤッコソウは国の天然記念物に指定されています。珍しい貴重な植物ですが、開発や伐採により宿主であるブナ科の林が減少し、ヤッコソウが見られる林も少なくなりました。中種子町では、熊野神社の神域というところで開発されず林が残りました。見ることがができる地域が限られるヤッコソウ、中種子町では十一月頃が見頃です。機会があれば探して観察してみましよう。



ヤッコソウ（熊野権現山）

南種子町

心ふれあつまちづくり 南種子町

家庭教育学級

〜コロナ禍でも開講〜

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で家庭教育学級及び高齢者学級の開校が危ぶまれていましたが、各学級でコロナ禍での対策を十分に講じながら、開講しています。

【家庭教育学級】

コロナ禍ということもあり、活動の制限を講じながら、各学級で特色ある学習を取り入れています。

学習内容は、救命救急講習や人権同和教育・情報モラル教室などの講師を招いての教室活動や親子のふれあいをテーマにした食育教室や体験教室（魚のさばき方）、ふれあい遊び（オセロ遊び）など地域色を出した教室が行われました。



情報モラル教室風景

図書館劇場

〜二年ぶり再開〜

南種子町では、例年幼児から大人まで楽しめる劇団公演を開催していましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていました。今年度も、開催が心配されましたが、感染対策を講じた上で、六月にトレーニングセンター、十一月に中央公民館において、二回開催することができました。

この事業は、離島であることから劇団公演を見る機会が少ない子供たちに、芸術に触れる機会を提供してほしいという保護者の働きかけもあり、平成五年から開催しています。



人形芝居観覧風景

六月の公演では、人形芝居ひつじのキャンパニー公演「かっぱの雨ごい」日

本昔話より、十一月の公演では、劇団さんぽ公演「まつくろネリノ」おじさんのかさ」を行い、多くの方々を観賞されました。会場は、例年よりスペースを広くとっての公演でしたが、子供たちは、目の前で行われる演技に、終始笑顔と笑い声があふれ、一体感のある楽しい時間となりました。今後、この事業を取り入れ、芸術文化に触れる機会の提供を図っていきたいと思います。

ジュニア学芸員

〜「昔の遊び」体験講座〜

広田遺跡ミュージアムでは、毎年、地域の歴史・文化について体験を通して学んでいたジュニア学芸員講座を開催しています。

十一月二十七日（土）に、平山地区老人クラブのご協力をいただき九人の高齢者を講師として「昔の遊び」体験講座を開催しました。

室内の遊びでは、輪ゴムとり、おはじき、貝きり、お手玉、あやとり、将棋駒倒し、けん玉などを体験していただきました。

また、屋外の遊びとしては、ダチクの葉の舟作り、竹トンボ、めんこ、こま回し、つわうち、紙鉄砲など、それぞれが得意な昔の遊びを教えていただきました。参加した子供たちは、「コツはありますか？」などと高齢者に質問しながら夢中になって遊んでいました。

昔の遊びのルールが分かってきたところで、「つわうち選手権」や「ダチクの舟選手権」などの勝負をしたところ、子供たちは一生懸命に、勝つため

の工夫を始めました。一等賞となった子供は、「葉のつけ根がやわらかいツワビキが良いよ」などと、周りの子供たちにアドバイスをしていました。身近な植物など自然にあるものを利用する遊びを通して、子供たちは自ら創意工夫し、深い学びを実現していました。



輪ゴムとりの様子



つわうち選手権の様子

屋久島町

生き生き キラキラ 元気あふれる 屋久島町



ふれあいあふれる図書室に
〜図書システムの導入〜

今年度から、町内二つの図書室と小中学校図書室に、図書館システムを導入しました。これにより、①全ての本がバーコード管理され、窓口での貸出手続き時間が短縮、②読書通帳を導入し、借りた本が通帳に記録、③ホームページ上での蔵書検索や貸出予約が可能といったように、今まで以上に図書室が利用しやすくなりました。

利用者の方々からは「通帳に子供の借りた本が記録され、思い出として残せて嬉しい。」「すぐに貸出ができるので、ちよつとした空き時間にも利用しやすくなった。」などと嬉しい声も多く聞かれます。

情報化に伴い、図書室には、まちづくりや生涯学習の拠点としての役割が更に期待されています。

今後子どもから大人まで、多くの町民がふれあい、語り合える、本を通してコミュニケーションの場として活用される図書



【記帳機で借りた本を記録】

室を目指していきます。

二年ぶりの学びの場

〜生涯学習講座〜

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しましたが、今年度は感染対策を行い、開講しました。

九月から十二月にかけて「健康ダイエツト講座」「アロマとボイスの魔法講座」「英会話講座」の三つの講座を開講しました。新型コロナウイルスの影響で当初の予定等を変更せざるを得ない状況もありましたが、講師の先生や参加者の皆さんの協力により、どの講座も充実した内容となりました。

参加者の皆さんの「生きがいづくり」や「仲間づくり」につながる活動となりました。

【健康ダイエット講座の様子】

ウォーキングの回は、宮之浦の総合自然公園で開催しました。天気にも恵まれました！



ふるさとを語れる子供に
〜屋久島ジュニア検定〜

屋久島を知り、屋久島に誇りを持ち、屋久島を語れる青少年の育成を目指して、毎年十二月に実施しています。小学生を対象とした本検定も、今年度十三回目となりました。今年も、町内全ての小・中学校が検定に参加しました。また、屋久島高校の生徒や一般の方も参加しています。

屋久島の「自然・環境」「文化・風俗」「地理・歴史」「町政・産業」に関する事項から五十問が出題されます。今年度から、小学生問題と中学生問題の二種類に分けての実施となり、中学生問題には新たな問題が十問加わりました。その新聞の一つを紹介します。

《「自然・環境」の領域より》

【問】 栗生海岸には屋久島町の天然記念物に指定されている「スナツル（シマネナシカズラ）」という植物が生育しています。この植物の特徴にあてはまるものはどれでしょうか。

- ① 昆虫に食べられないように、くさい臭いの物質を発生させる。
- ② 他の植物に蔓を伸ばして栄養を吸収する寄生植物である。
- ③ 虫などを捕らえて消化し、栄養を吸収する食虫植物である。

(② 揃王)

地域の活性化に向けて
〜公民館講座〜

今年度は四つの公民館で、それぞれ年間十回の開催を基準として、工夫して取り組んでいます。

永田公民館では、様々な特技をもった方々が地域におり、講座の内容ごとにその方々に講師を依頼しています。「脳トレ体操」「中華おこわ作り」「クリスマスリース作り」など、バラエティに富んだ講座が月一回行われています。かめんこ留学で永田小学校に転入した小学生のお母さんなど、地域内で参加者の輪が広がっており、明るく、楽しい講座となっています。

公民館講座が、人と人とのつながりを広げ、地域の活性化へとつながっています。



【永田公民館 中華おこわ作りの様子】